株式会社大丸松坂屋百貨店

「平成 28 年 10 月 18 日、貴団体にて実施されました「マグロの赤ちゃんを守って！　～Save My Baby～」と題した 1488 名分の署名およびコメントをお預かりいたしましたが、この件につきまして現時点での弊社の対応・考えをご連絡いたします。

太平洋クロマグロの資源量が著しく減少していること、また産卵地が日本近海であること、産卵期の太平洋クロマグロが漁獲され市場に流通していること等については弊社としても認識を持っております。また、弊社店舗において産卵期に漁獲された太平洋クロマグロが販売されていることも事実です。

百貨店においては、鮮魚をはじめ多くの商品について、お取引先様へ品揃えおよび販売に関わる業務を委託しており、特に生鮮食品について弊社が関与できる部分は販売促進策だけであることが実態です。お取引先様も、法令や行政の指針を遵守の上商品の調達を行われており、また複雑な過程を経て商品調達をされているとのことですので、現時点で弊社が貴団体およびご署名いただいた皆様方の要望に具体的な回答を差し上げることは不可能と考えます。

本来、資源量の減少した魚種については行政主導でその保護対策がとられるべきと考えますが、サプライチェーン全体の課題として、今後もお取引先様とともに情報収集に努めてまいります。」

株式会社阪急阪神百貨店

「百貨店にて販売しております水産物は弊社が漁獲業者から直接買い付けるものではなく、販売を委託している取引先が卸売市場などを通じて調達しているものです。従いまして、今回ご署名によりお申し出をいただきましたご意見を実現するには、取引先各社の理解と協力が不可欠となります。養殖マグロを主体に取り扱うなどの取り組みを一部で開始しておりますものの、取引先各社との間で生態系の保護に関する共通認識を持つにはなお、相当の時間を要するものと見込まれます。この度のご要請を将来的な課題として認識し、取り組んでまいりたいと考えております。」

株式会社 高島屋

「弊社を含めた百貨店の水産物のお取り扱いは、自主売場ではなくあくまでもお取引先様がテナントとして仕入れ・販売する形式をとっております。また、お取引先様も仕入れをする段階で、はっきりと産卵期の絶滅危惧種であると明確に判別することがむずかしい状況にあります。そのような点を踏まえて、弊社が一方的に販売を中止する等明快な回答をすることは困難な状況でございます。

一方で、今後も国内外で環境に関する意識はますます高まる等、生態系を守ることは益々重要度を増していくものと認識しております。そのようなことを踏まえて弊社といたしましては、今後店頭での生態系についての啓発活動や、お取引先様とのお話合いの場を検討していきたいと考えております。」

株式会社 三越伊勢丹

「要請内容としていただいた 1)・2)・3)については、当社としては、今後、「魚食文化の更なる普及」・「古来からの食文化の保護」の課題と、「海洋資源の保護」の課題を、どう両立していくか、が重要であると認識しています。

国の基準や監督省庁の通知指導を鑑みながらも、百貨店の取引形態としては、直接漁業生産者との取引ではない為、「持続可能性のある海洋資源管理」については、当社のテナントであるお取組先様との話し合いから始めております。

難しい課題ではございますが、引き続きいただいた 3 項目については検討を進めてまいります。」

株式会社 そごう・西武

「いただきましたご署名は、社内関連各部で確認させていただきました。お取引各社様と共に今後の仕入れ、販売等の参考にさせていただきます。」